

| | | | |
|-----|-----------------|-------|-------|
| 科目名 | 歴史学ⅡB HistoryⅡB | 科目コード | *0466 |
|-----|-----------------|-------|-------|

| | |
|----------|------------------------------------------------|
| 学科名・学年 | 全学科・5年（プログラム2年） |
| 担当教員 | 田中 聡（一般教育科） |
| 単位数・区分 | 履修単位科目・1単位・選択 |
| 開講時期・時間数 | 後期，30時間【内訳：講義30】 |
| 教科書 | なし |
| 補助教材 | プリント |
| 参考書 | 楠綾子・池田慎太郎・中島琢磨・若月秀和・佐道明広著『日本現代政治史（全5巻）』（吉川弘文館） |

【A. 科目の概要と関連性】

昭和戦後から平成にいたる日本の歩みを概観し，21世紀を生きる日本人としての素養を培うことを目的とする。講義に衝撃映像をまじえて基本事項を解説する。

○関連する科目：世界史（1年次履修），日本史（2年次履修），歴史学Ⅰ（4年後期，選択），歴史学ⅡB（5年後期，選択）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育到達目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|-----------------------------------------|-------|---------------|
| ①昭和戦後から平成にいたる日本の歩みを理解する | 80% | (a1) |
| ②授業で解説された事項について，意見や感想を持ち，それを表明することができる。 | 20% | (a1) |

【C. 履修上の注意】

1・2年次に使用した世界史・日本史の教科書などで基本事項を整理しておくことが望ましい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（70%）【内訳：期末70%】
- その他の試験（0%）
- レポート（0%）
- その他（30%）【コメントカードの提出】

【E. 授業計画・内容】

● 後期

| 週 | 内容 | 備考 |
|----|-----------------------------|----------|
| 1 | ガイダンスー私の見た「大日本帝国」 | |
| 2 | 日本の敗戦、そして占領のはじまり | |
| 3 | 「私たちは忘れない」 | ビデオ |
| 4 | 占領下の日本① | |
| 5 | 占領下の日本② | |
| 6 | 「東京裁判」 | ビデオ |
| 7 | 独立の回復 | |
| 8 | 日本の自立と経済成長① | |
| 9 | 日本の自立と経済成長② | |
| 10 | 「60年目の対話ーフィリピン裁かれた対日協力者たちー」 | ビデオ |
| 11 | 日本の自立と経済成長③ | |
| 12 | 現代の世界と日本① | |
| 13 | 現代の世界と日本② | |
| 14 | 「沈黙の歴史をやぶってー女性国際戦犯法廷の記録ー」 | ビデオ |
| ー | 学年末試験 | 試験時間：80分 |
| 15 | 試験解説とまとめ | |